

令和2年度 翔っ子 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果 公表

令和3年 3月 22日 公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・法令に遵守したスペースを確保しています。人員については、必要な職員数に加え、保育士もしくは児童指導員を1名加配しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・室内は完全バリアフリーとなっており、車いすや歩行器でも自由に移動ができます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・一人ひとりの発達に合わせたスケジュールの提示や、要求などの表出を出しやすくするための絵カードなどの使用を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・業務改善のアイデアを職員間で出し合いながら進めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケート調査で保護者の率直な意見を把握し、業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ブログへの公開、玄関掲示、各家庭への配布をもって公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・第三者委員会より評価を受けているが、その仕組みに対する職員の理解が薄いので、周知できるようにしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・オンライン研修を職員全体で受講するなど、研修の機会をできるだけ多く持てるように努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・新規の利用児に対しては、保護者からの聞き取りにより個別支援計画を作成しています。その後は利用して頂いている時間や、保護者懇談会により情報の共有を行い、計画の更新を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・標準化されたアセスメントツールの使用はありません。職員がお子さんの様子を観察し、その分析から支援の内容を組み立てています。今後は、あらゆるツールを組み合わせながら特性理解を深めることも検討していきたいと思えます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・コロナ禍でお出かけや外食などのイベントはできていないが、感染予防しながらできる活動を職員全体で考え、決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日は主に宿題や課題、自由遊びを中心にスケジュール化しながら支援しています。休日や長期休暇については、集団遊びを取り入れて、SSTの要素を取り入れた活動を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用児それぞれの特性を踏まえて、個別化した支援計画を作成しています。集団の中で望ましい行動ができるよう、その子なりの関わりを支援する取り組みを職員で考えています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎朝、朝礼を実施してその日の活動内容や担当業務などの確認をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・その日の夕方や次の日の朝礼で、支援の結果を振り返り、情報の共有や改善点の意見交換などを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・個別のモニタリングシートを活用し、利用後にはその取り組みに対してどうはたらきかけができたかを振り返り、評価をつけています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・月末には、モニタリングシートの判定基準を参考にしながら、その取り組みを続けるか見直すかを職員間で話し合いながら決めています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			・自立支援、創作活動、余暇支援等を組み合わせた活動、支援を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・主に児童発達支援管理責任者、または管理者が出席しています。事前にその子についての情報の共有を職員間で行った上で、会議に参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・お迎え時に学校での様子の聞き取りを行ったり、事業所の様子を伝えるなどして情報共有を図っています。また、学校から各家庭へ発行されているおたよりのコピーをいただいています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・契約時に主治医の情報をいただき、必要に応じて情報提供や交換を行うことのできる承を得ています。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・担当者会議などの場に積極的に参加して、連携を図っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・越前市の児童発達支援連絡会などを通して、連携を図っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		・これまで、放課後児童クラブや児童館との交流は実施したことがありません。地域行事に参加するなどして、交流する機会を設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・越前市の児童発達支援連絡会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・お迎え時や連絡ノートを通じて、翔っ子での様子や家の様子について情報交換をしながら共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・個人懇談会を行い、保護者の心配事などについての聞き取りを行い、助言や提案など専門的な支援を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明し、納得いただいたうえで契約を結んでいます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・個人懇談会を行い、保護者の心配事などについての聞き取りを行い、助言や提案など専門的な支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・今年度は新型コロナウイルス拡大の影響から、保護者参加イベントは実施しませんでした。来年度以降はコロナ禍でも実施できる形を模索しながら開催していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情を受け付けた場合は、『相談・苦情対応マニュアル』をもとに、職員間で対応策を話し合って実施し、保護者の納得のいく取り組みを進められるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月『翔っ子だより』を発行して、各ご家庭への配布、玄関への掲示、ホームページに投稿しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・契約時に『個人情報保護同意書』に署名をもらい、同意のもとに写真の掲載などを行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・視覚支援(PECS等)や筆談(ホワイトボード)を活用しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・昨年度までは法人の祭りへの招待があったが、今年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各種マニュアルを策定していて、いつでも閲覧可能となっています。保護者には、契約時に『緊急引き渡しカード』の記入をお願いし、災害時の対応についてご理解いただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回の避難訓練を実施しています。訓練の様子は広報誌やブログ等で発信しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・今年度は県が主催した『障害者虐待防止・権利擁護研修』の動画を職員全員で視聴し、内容についての意見交換会を行いました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・切迫性、非代替性、一時性のすべての要件を満たしている、緊急やむを得ない場合には、マニュアルの手順のもとに身体拘束を行うことを書面にて同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時の保護者からの聞き取りや、フェイスシートで確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットが起こった際には、報告書を作成、改善策を検討し、職員に回覧し保管しています。